



起承転結

起承転結(きしょうてんけつ)とは、物語の筋でよく使われる言葉です。

私(わたくし)の場合は、子どもたちにわかりやすく、

起…話の「始まり」

承…話の「深まり」

転…話の「変わり」

結…話の「終わり」

と説明してきましたが、我ながら言
えて妙だなと自画自賛している次第で
す。

子どもたちが苦手とする宿題に作文
や感想文があります。感想文はともか
く作文となると、何を書いているのか
わからないことと、書いていくうちに
わけのわからない内容になってしまう
ことが主な理由と聞きます。人前で話



したり説明したりすることも同様で、
話し上手な人は話の「しめ」、つまり
「結」を見通した上で話し始めるとの
こと。つまり、話し上手と書き上手は
一対なのかもしれません。とすると、
子どもの文章力を育てるためには、話
すことを数多く体験させることが第一
歩になると思うのですが。そして、聞
き手である大人が耳を傾けながら、「そ
してどうなったの?」、「それでどう思
ったの?」と、筋道を意識して聞き返
すことで、子どもに自然と話の構成力
を身に付けさせることができるのでは
ないかと思えます。

本校では4月より、「読み取ったこ
とを書く力を育てる」を目標に、子ど
もたちに対して取り組んできました。
今後も課題を検証しながら進めていき
ます。四箇郷の子どもたちの学力も含
めた、『社会で生き抜く力』を育てて
いくことを私たちは忘れてはなりません。